



鈴鹿市議会だより

■発行/鈴鹿市議会 ■編集/鈴鹿市議会広報広聴委員会

三重県鈴鹿市神戸一丁目18番18号 TEL.059-382-7600 <http://www.city.suzuka.lg.jp/gikai>



議場を見学するIATSSフォーラムの研修生

9月定例会のあらまし

9月定例会は、9月4日から27日までの24日間の日程で開催されました。本定例会では、平成19年度鈴鹿市一般会計補正予算(第3号)など議案23件が市長から提出され、議案質疑、各委員会での審査の後、討論及び採決の結果、それぞれ原案のとおり可決されました。また、議員提案による、「道路特定財源の確保と地方への配分強化を求める意見書」ほか3件の発議案が27日の本会議で提出され、原案のとおり可決されました。なお、意見書については関係機関へ送付し、その実現について要望しました。(議決一覧については10ページに記載)

主な内容

- 一般質問…………… 2～8P
- 常任委員会活動状況…… 8P
- 議会の動き…………… 9P
- 9月定例会議決一覧…… 10P

議員からの寄付は禁止されています

議員(候補者を含む)が、親睦旅行会・会合・お祭り・運動会等の行事に、寄付や差し入れなどをしたり、祝い金(出産・新築等)や贈り物をする事は、公職選挙法等により罰則をもって禁止されています。また、要求した人や受け取った人も同様に罰せられます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

政友会 水谷 進 議員



① 市政について (1) 交通弱者の安全安心について

質問① 市内の危険個所をどのように把握し対処しているのか

答弁① 自治会からの要望や行政懇談会、PTA会議、道路パトロールなどから危険個所の把握を行っている。カーブミラーは平成18年度要望197件中155件施工した。また、グリーン歩行帯は車の速度を抑制し、歩行者の安全確保を目的で設置している。地元で好評な為、標準化するよう警察に対し働きかけていきたい。

質問② 神戸中学校の移転先は開校までに安全が

確保されるのか。

答弁② 通学路については検討委員会で話し合われている。交差点や周辺道路については地元の理解も得ながら安全の確保を進めていきたい。

質問③ 点字ブロックの重要性をどのように考えているのか。

答弁③ 視覚障がい者の方の社会参加を目指す上で大変重要と考える。平田駅周辺については現行の基準に合うよう改修を検討していきたい。

質問④ 交通弱者の安全を今後どのように確保していくのか。

答弁④ 交通安全条例に沿って進めていきたい。

あくていぶ21 伊藤 健司 議員



① 鈴鹿市療育センターの充実について ② 高齢者の権利擁護について ③ 観光関連施設の整備について

質問① 鈴鹿市応急診療所の移転に伴い、鈴鹿市療育センター改修計画と毎日通うことのできる体制についてどのように考えているのか。

答弁① 今後、本格的な検討に入る予定だが、施設関係者や保護者の方の要望をふまえた改修をする。療育センター利用者が毎日通うことができるためには改修にあわせて専門職員の増員配置も一体となって進めていく。

質問② 高齢者の虐待等、著しく侵害された人権

を擁護する仕組みをどのように構築していくのか。

答弁② 高齢者虐待防止について、防止マニュアルにおいて対応窓口の明確化、具体的な対応手順を作成し迅速に対応できるシステムを構築したい。

質問③ 観光関連施設の整備において、特にトイレなどバリアフリー化の推進が不可欠な場所についての整備支援をどのように進めていくのか。

答弁③ 例えば、神社・仏閣等の中でも文化財指定されているものについてそれを保存する補助金交付はあるが、バリアフリー化の助成はない。鈴鹿市観光協会において一部を補助する制度を活用していただく。今後のバリアフリー化は仮称「鈴鹿市観光まちづくり推進協議会」の中でも検討・推進に努める。

あくていぶ21 森 喜代造 議員



① 高齢者対策について ② 地震対策について ③ 平田野中学校の移転について ④ AED (自動体外式除細動器)

質問① 市内において独居老人の数は把握しているのか。また老人が困った時の相談場所は何ヶ所あるのか。

答弁① 現在の数は4,989人で把握については、災害時での対応及び平常時における相談、見守り等にも必要であり、手法等について検討したい。また、相談できる場所は、地域包括支援センター4ヶ所と在宅介護支援センター9ヶ所で様々な相談に応じており、市や鈴鹿

亀山地区広域連合と連携して支援にあたっている。

質問② 避難所の誘導方法及び食料の備蓄場所と備蓄数を尋ねる。

答弁② 市の方で避難場所をお知らせする。避難所までは自力で移動願いたい。備蓄場所は市役所と市内の小学校30校に3万6千食を備蓄している。

質問③ 現在の進捗状況について説明されたい。

答弁③ 学校用地として約4万㎡を確保している。建設委員会等で協議を重ね平成25年の開校をめざす。

質問④ AEDの設置状況及び講習会について。

答弁④ 公共施設はほとんど設置されており、企業にも設置を進めたい。講習会は年間4千人が受講しており、イベント等にも随時貸し出しを行っている。

緑風会 小島 巧也 議員



- ①包括予算配分方式について
- ②財政調整基金について

質問① 平成17年度予算編成から導入された包括予算配分方式は2年を経過し、導入した効果や課題など検証されたのか。また、来年度の予算編成の方針の考え方はどうか。

答弁① 本方式は財源の有効配分の方策として導入した。時期的に三位一体改革など、地方税財政制度の変貌期と重なり、3ヵ年の配分枠にこだわらず枠の変更を行なうなど柔軟な対応を行ってきた。来年度以降も本方式を継続すると考えているが、財政見通しの予測

が難しく、平成20年度は、単年度の枠配分方式行なう考えている。

質問② 一般家庭での「貯金」の役割をもつ財政調整基金が年々増加してきている。適正な積立額はどれほどか。また来年度への予算反映はどうするのか。

答弁② 鈴鹿市は税収の年度間変動が大きく税収の変動を補完するための財源としてこの基金は有効であり、基金の残高は平成18年度末で109億円余りとなった。適正な規模についての指針はないが、60億円を下回らないよう財政運営を行なっている。来年度の予算については臨時的な大規模事業等に活用していきたい。また特定目的基金へのシフトも一つの手立てと考えている。

すずか倶楽部 中西 大輔 議員



- ①平成18年度行政評価について
- ②NTT西日本研修センタ跡地利用に関して

質問① 18年度行政評価について、進捗状況、評価結果の公表を早くできないか、予算との連動は。意見として、事業事前評価の導入と、事業の中間評価の実施。情報弱者を生まないために、公的施設での情報提供のあり方を再検討すべきである。

答弁① 18年度内に評価ができるよう、本年2月中旬から年度内評価を実施、7月には一部の主管課対象に研修会を開き、143の単位施策の評価を実施している。単位施策評価の精度を高めるため、事務事業評価だ

けの公表を早めることは難しい。

質問② NTT西日本研修センタ跡地利用に関し、来年4月の開校を前に、大学側とどのような連携をとっているのか。活用法の提案をしても良いのではないか。また、現在の状況についての説明を。意見として、現在中断している桜祭りの開催を、市は大学に提案、協議してはどうか。市は跡地土地利用転換計画の再評価と再検討をするべきである。

答弁② 大学施設整備と関わる事項については、適宜確認、大学側に提案して連携を考えている。NTT西日本から土地利用に関して、7月に市に対して提案したいと申し出がある。市は地権者NTTの判断を尊重する。

無所属クラブ 杉本 信之 議員



- ①農業と環境について

質問① 農業生産において生まれる野菜や花木や、農地そのものが環境への貢献がある反面、農業や肥料分を含んだ水が地下水や川や海に流れ込み環境悪化を招いている場合もある。農のある風景を享受している市民と農家が一緒になって農道や河川の草刈や簡易な補修をする事で、地域の愛着が増し農業への理解も深まると思う。そして、減化学肥料や減化学農薬の営農活動を進め、更には有機農業を推進して行く事が大切である。また、循環型社会を構

築して行く上では生ゴミの堆肥化が必要と思われるが、これらについてどのように考えているか。

答弁① 食の安全や住環境には市民の関心も高い。環境に優しい農業や農産物に対する生産者と消費者の理解を計り、市民の生活環境を良好に保つ「多面的機能」を有する農地の保全及び有効利用について、積極的に取り組んで行く。エコファーマーは市内に61農家が認定されており、「みえの安心食材表示制度」や「みえの安心食材マップ」の市内版をもっとPRしていく。平成18年12月に「有機農業の推進に関する法律」が成立しているのも、本市としても環境保全型農業を積極的に推進して行きたい。生ゴミの堆肥化は引き続き検討課題として行く。



新政会 中村 浩 議員

- ①災害相互応援協定について
- ②Cバスについてのパート5

質問① 大規模な災害に備え、遠隔地の自治体と協定を締結し広域の協力体制を充実させては。また締結先として、F1サーキットの関係で静岡県的小山町や自動車産業面の関係、副市長の以前の赴任先などの都市を候補として考えてはどうか。

答弁① 現在、県内の全ての市町等を対象とした4つの協定のほか、東海道五十三次市区町災害時相互応援に関する協定などを締結している。提案のある都市は共通認識があり協議しやすいが、他にも文化・スポーツ・

歴史等、様々な方面で本市と関係のある自治体を視野に入れ検討したい。

質問② 中学生等が、勉強できる環境整備を図るため、市立図書館へCバスを運行させてはどうか。また、障害者や子供、高齢者を大切にする福祉都市の実現のために、公共交通がない市街化区域へも、コミュニティバスを運行させてはどうか。

答弁② Cバスは、原則的に民間事業者により、公共交通サービスが確保されない地域への、補完的なサービスと考えており、いわゆる福祉バスではない。今後は、民間の公共交通サービスとの連携や支援といったことも含め地域公共交通会議などを活用し、本市の公共交通サービスのあり方を検討したい。



無所属クラブ 板倉 操 議員

- ①第5次鈴鹿市総合計画について
 - (1)実施計画が計画書にない施策はどのようにするのか
 - (2)公立幼稚園の今後の方向性は
 - (3)在住外国人との地域での共生は

質問①(1) 市民と一緒に作った総合計画であり、市政運営の基本指針と市長も言っているが、重要なのに計画のない施策が57ある。どう扱うのか。

答弁①(1) 市が決めた重点施策の順に行っている。取り組み体制が不十分な点もあるが、各所属の責任において毎年検証・評価し目標達成に向けて取り組む。

質問①(2) 母数が少なくなり園児が集まらない園もあるが、母数が増えて幼稚園での2年保育の二-

ズが高まっている所もある。今後地域の中心である幼稚園をどのようにしていくのか、行政として地域の意見もしっかり聞いて方向を出すべきではないか。

答弁①(2) 今後保護者のニーズをしっかり把握し地域や市民の声に耳を傾けながら、一つにまとめたり幼保一元化も選択肢に入れ、幅広く検討を進める。

質問①(3) 在住外国人との共生は、外国人に一方的に発信する段階から、日本人と外国人が交じり合っ

て生活する方向へと行政が引っ張っていく時期に入ったのではないかと。住宅課の取組のように手本はある。
答弁①(3) 状況はよく理解している。どのようにやっていくのかをさぐる為に「多文化共生推進庁内会議」を立ち上げた。8部局14課の担当職員で情報交換し対応策を検討していく。



緑風会 藪田 啓介 議員

- ①道路改良及び道路保全の実施実績などについて
- ②条件付き一般競争入札について

質問①(1) 各地区(自治会)から道路改良、保全の要望が提出されているが、未着手の要望件数はどうか。

答弁①(1) 道路新設・改良については過去10年間で2,027件あり、未着手は569件、道路補修は2,584件で398件が未着手となっている。

質問①(2) 要望着手まで数年かかると言われているが、地元との調整はされているのか。

答弁①(2) 道路保全は極力短期間で実施しているが、新設・改良の場合は緊急性、他事業との調整、地元合意などを考慮し、限られた予算で効果的実施をするた

め数年かかるのが現状である。

質問②(1) 一般競争工事入札参加資格業者別落札率はどうなっているのか。

答弁②(1) 平成17年度の建設工事関係平均落札率は94.43パーセント、同平成18年度は78.92パーセントとなっている。

質問②(2) 最低制限価格で複数業者が応札した場合抽選で業者指名となっているが、同じ業者が複数工事で同じ業者が落札する事についての対応はどうか。

答弁②(2) 落札候補者は適切な工事が可能かどうかを慎重に調査している。また新しい「総合評価落札方式」の試行的な実施を予定している。



公明党 池上 茂樹 議員

- ①災害時の救援活動について
 - (1)地域防災力の強化について
 - (2)防災協力事業所登録の推進は
 - (3)メッセージボードの設置について

質問①(1) 災害時の被害情報を収集、把握する際に、自治会との連携、協力関係はできているのか。

答弁①(1) 地区市民センターを拠点とし被害情報の収集活動を行う。先ず電話で自治会や自主防災隊から地域の被害情報を収集する。電話が使用できない場合は、地区市民センターの公用車で地域を巡回し自治会長の居宅を廻り自治会と連携していく。

質問①(2) 事業所との防災協力の推進を早急にす

べきでは。防災協力事業所にステッカー表示をしてはどうか。

答弁①(2) 現在、事業所との協定は、覚書きを含め14件。他所の事例を調査・研究し検討する。ステッカーについては、防災協定を締結している事業者にステッカーを配布することを検討する。

質問①(3) メッセージボード付災害対応型自動販売機があるが、本市も早急に設置し、災害時の正確な情報発信をしてはどうか。

答弁①(3) 本市の施設では災害対応型自動販売機は、鈴鹿市河川防災センターに1台設置している。メッセージボード機能がないタイプだが今後、こうした災害対応型自動販売機の取り扱いを研究し考える。



公明党 伊藤 寿一 議員

- ①市営住宅入居について望む
- ②アレルギー児童・園児に対する給食について
- ③公園の管理について

質問① 子育て枠・新婚枠の設置、所得制限・入居条件の緩和、管理人運用マニュアル作成を望む。

質問① 少子高齢化や諸問題に対応するため、現在住生活基本計画の策定に向け、庁内にワーキンググループを設置し、検討を重ねている。管理マニュアルは管理人の意見を聞き、充実に努める。

質問② 市の実施している対応はどうか。保護者からの要望と合致しているか。

答弁② 平成5年2月から除去食による対応を行っており、保護者より提出された医師のアレルギーに対する診断書を基にできる限りの対応に努めている。保護者から除去願いが提出されている人数は、園児5名、児童62名となっており、その内、実際の除去食の調理を必要とする人数は、園児5名、児童47名で残りは牛乳の飲用を避けなければならない児童である。学校給食におけるアレルギー問題については、様々な角度から十分検討する。

質問③ 安全な児童遊具や高齢者対応遊具の設置を。

答弁③ 遊具は196公園に設置されている。毎年点検を行い、修繕や改修を行っている。高齢者遊具の設置は、高齢者の方々の意向等を把握した上で、まずはモデル事業を行ってみるなど取り組んでいく。



日本共産党 石田 秀三 議員

- ①消防職員体制の充実について
- ②払いやすい市税納付について

質問① 消防の設備や人員配置の基準を国が示した「消防力の整備指針」に対して、鈴鹿市は設備では100%満たしているのに、人員は基準219人のところ138人、63%と非常に遅れている。そのため、出動する消防車に基準どおり4～5人乗る割合はわずか3割、2～3人乗車が7割というのが現状である。増員計画の前倒しと、4人乗車を増やす工夫を求める。

質問① 消防職員は毎年増員はしているが、さらに努

力したい。火災出動現場では何台かのチームで協力し合って活動している。

質問③ 市税の納め方を、少ない納期でなく12回払などを選択できるように工夫されたい。

答弁③ 納期は法や条例で決まっているが、納税相談の中で個々の事情を聞いて対応していきたい。



日本共産党 森川ヤス工 議員



- ①介護認定者の障害者控除について
- ②生活が大変な母子家庭の暮らし応援

質問① 年金控除削減、老年者控除廃止、定率減税廃止等による増税、税控除削減廃止により介護保険料、利用料負担が増え苦しい生活をしいられる市民の暮らしを応援するため、介護認定者の障害者控除の活用を対象予定者に個別通知し、市民の暮らしを応援する親切な対応を求める。

答弁① 亀山市とも協議して対応していきたい。

質問② 母子家庭の児童扶養手当が削減されるとただちに暮らしが困難になります。生活へおし寄

せる困難を、①家賃補助②保育料補助③ファミリーサポートセンター利用料支援などの検討を求めます。また市営住宅の優先措置をもっと実効性あるものにすることや、学童保育運営委員会へ支援をしすべての学童保育所で、保育料の減額措置が受けられるよう求める。

答弁② 家賃や保育料、学童保育運営委員会への補助は現状では困難である。ファミリーサポートセンターの利用料は子育て支援策の一環として多方面から検討をしていきたい。市営住宅入居の優先措置については、住宅課と可否も含めて検討していきたい。

政友会 大杉吉包 議員



- ①食料自給率について
- ②食の安全、安心について
- ③教育再生と食農教育について

質問① 2006年度の食料自給率が39%と13年振りに40%を割り自給率向上策が農政課題として急浮上している中、本市の対応は。

答弁① 本市の食料自給率は人口の増加もあり30%となっている。対策としては農産物直売所を支援、地域農業の活性化と地産地消を推進、集落営農組合設立支援、ふれあい農園関連施設をはかり米の食味向上、野菜については関係機関と連携を強化しながら振興に取り組んでいきたい。

質問② 中国産の農産物の安全性が問題となっており、日本に輸入された農産物からも農薬の違反が出ている。本市の実態と対応は。

答弁② 輸入食品については保健所等が監視指導を行っており平成18年度に18件の抜きとり検査を実施、その結果基準を上回る違反はでていない。

質問③ 豊かな心を育むという点で循環や命の大切さを伝える食農教育は有効と考えるが進捗状況は。

答弁③ 総合学習において米や野菜を作る体験学習を行っている学校は平成19年度は12校となっており実施校は年々増加傾向をたどっている。今後も学校や地域の実情に応じて食農をとり入れた食農推進に努めていく。

あくていぶ21 矢野仁志 議員



- ①教職員の訴訟費用保険加入について
- ②保護者の要求要望の対応について
- ③中国産食材から農薬検出
- ④救急活動について

質問① 公務員が職務に関した行為が原因でトラブルに巻き込まれた際、弁護士費用などを補償しては。
答弁① 三重県学校生協が県内の教職員を対象に「教職員争訟(そうしょう)費用保険」を創設したことからこの制度について今後、周知をしたい。

質問② 要求要望で学校現場を混乱させる保護者「モンスターペアレント」について国が本格的に学校支援に乗り出す方針を固めた。本市の取り組みは。
答弁② 本市の「学校への理不尽な要求、抗議」の

実態は昨年度、小中学校あわせて98件であり、議員提案の「保護者の要求への専門家チームによる対応について」は、国の動向などもみて検討したい。

質問③ 中国産食材から農薬が検出されたが子どもたちの学校給食への影響は。

答弁③ 当面の間できる限り中国産食材の使用をひかえ、国内産などを使用するなど慎重に対応したい。

質問④ 搬送体制や救急搬送トリアージの状況は。

答弁④ 平成18年中で6,552人で、市内二次救急病院への収容は5,120人で収容率は85%。市内病院全体での受け入れは、6,023人で、収容率は91.9%。なお、市内で、いわゆる「たらいまわし」事例はなかった。トリアージは現時点では困難な状況である。

あくていぶ21 青木 啓文 議員



- ①西部地域の都市基盤整備について
- ②鈴鹿市農業振興策について
- ③歴史的資源を活用したまちづくりについて

質問① プロジェクト事業の内容と現状、これからの取組の課題は。土地利用と道路整備方針について、整備課題の解決にむけての具体的な施策は。

答弁① リニア新幹線、第2名神等の交通網整備促進を関係機関と連携しながら進め、「自然・農業と共生した広域交通連携のまち」を目指し、道路機能の強化と、都市的な土地利用を誘導していきたい。

質問② 西部地域の特産物である花木・花き・茶・養鶏の現状とこれからの振興策は。

答弁② 景気回復で上昇しているものもあるが、依然として生産者には厳しい状況である。今後は生産者団体と連携し必要に応じて支援したい。また、新品種等のマスコミへのPRや付加価値の高い新商品開発への取り組み等についても連携し進めたい。

質問③ 鈴鹿「花と歴史の遊歩道」について、佐佐木信綱記念館耐震施工の進捗状況は。県史跡・白鳥塚古墳の環境整備事業の内容と進捗状況・課題は。

答弁③ 記念館について、本年度は耐震補強の実設計業務を委託し、来年度施工を予定。白鳥塚は来年度、県補助事業として保護措置の強化、史跡の境界杭や説明板の設置を検討している。今後、魅力ある環境整備を進め、観光資源としても活かしたい。

すずか倶楽部 後藤 光雄 議員



- ①清掃センターごみ投入方法について
- ②学校給食の残飯処理について

質問① 清掃センターへの事業ごみ搬入の際のごみ投入者の安全確保の為に、ダンピングボックスの使用拡大と設備の充実をお願いしたいが。



答弁① 一般ごみ搬入者との現場の状況に応じた柔軟な対応と、危険回避する施設設置を検討する。

質問②(1) 学校給食の残飯の量の把握はできているか。

答弁②(1) 学校により米飯・パンの残飯量が把握出来ていないところがあるが、今後把握していく。

質問②(2) 残飯の処理について、堆肥化することで、自然界の循環システムに重ねて教育利用して欲しい。

答弁②(2) 平成20年に稼動する新給食センターでは、環境教育や食育の取組に活用出来るよう生ゴミ処理する堆肥化システムの導入を間に合わせたい。

質問②(3) 残飯が減るという米飯の自校炊飯の導入は考えられないか。

答弁②(3) 自校炊飯方式を行うことは、設備面、経費面、人的配置の面で非常に難しい。

政友会 市川 哲夫 議員



- ①鈴鹿市の緑化について

質問① 鈴鹿市の緑化施策の考え方及び取組みは。公園等の維持管理の現状は。街路樹の管理をどのように行っているのか。

答弁① 鈴鹿市においては平成18年4月に「緑の基本計画」を策定し鈴鹿市の緑の現状や緑のはたらきを踏まえ、環境と共生し、緑が豊かで潤いのあるまちづくりの実現をめざし、「骨格となる緑地の保全」、「緑の拠点となる公園の整備・確保」、「緑の空間とそのネットワーク化」、「市民参加による緑の推進」という4つの方針を掲

げており、本計画のテーマである「緑あふれる心やすらぐまち鈴鹿」の実現を市民の皆様のご協力とともに推進している。公園の維持管理は市内に250箇所を超える公園があるが、規模の大きな公園については、樹木の選定及び除草については業者等に委託し、小規模なものについては地元自治会に委託し管理頂いている。街路樹については道路整備事業や大規模開発により整備された街路樹を専門の造園業者と管理業務委託契約を結んで、主に春から秋にかけ低木剪定を、冬季には高木の剪定を必要に応じて行っている。下枝などの通行障害などは、夏季にも剪定を行っている。

市政研究会 森 義明 議員



- ①不燃物処理場の第2期工事について
(1)1期同様、行政で運営すべきでは。
(2)PFI手法はゴミ行政ではなじまないのではないか。

質問①(1) 処理場の運営は開設当初より地元に対し行政が直営で運営し責任を持つという約束である。行政は迷惑施設の実態と地元の意向や町政運営の難しさを理解すべきであると考えがどうか。

答弁①(1) 地域住民のご理解とご協力には感謝している。地域の中で側面から清掃行政の運営を支えていく難しさについては充分認識している。

質問①(2) PFI手法を難しい問題の多いゴミ行政で率先して採用すべきではない。費用削減する部署

は行政で他にいくらでもある。特にPFI手法はゴミ行政になじまない、絶対受入れないし地元も認めない。1期工事運営が直営で無難に処理されているのに、なぜ地元が理解していないPFIを2期事業に採用しようとしているのか。事業が進まないのではないか。

答弁①(2) PFI手法の一定の基準を満たすものであれば民間の経営上のノウハウや技術的能力を活用し計画・効果的な執行と安定的な財政運営に資した場合採用することになるが、公共サービスの一環であることにはなんら変わりない。最終的責任は市にあることを充分に認識しているので今後ともご理解と協力を願いたい。

常任委員会 活動状況

常任委員会(総務・文教福祉・生活産業・建設水道)では、定例会において付託された議案や請願の審査のほか、所管事務事項や閉会中の継続調査となった事項についての調査・行政視察を行いました。

総務委員会

7月30日(月)～8月1日(水)
高浜市・相模原市・我孫子市

- 民間提案型業務改善制度について
- さがみはら都市経営ビジョンの策定・推進について
- 提案型公共サービス民営化制度について



文教福祉委員会

7月11日(水)～7月13日(金)
所沢市・習志野市・町田市

- 総合型地域スポーツクラブについて
- 幼保一元化:認定子ども園について
- 児童館・学童保育について



生活産業委員会

7月24日(火)～7月26日(木)
八王子市・草加市・埼玉県環境センター

- いきいき企業支援条例について
- 今様 草加宿について
- 彩の国資源循環工場について(PFI事業)



建設水道委員会

7月23日(月)～7月25日(水)
堺市・倉敷市・松江市

- 地籍調査について
- 市営住宅について



議員派遣

9月27日の市議会本会議において次のとおり議員派遣を議決しました。

第35回三重県市議会議長会海外行政視察

〔派遣場所〕 香港・オークランド市・ワイタケレ市・モータランド市・メルボルン市・シドニー市

〔派遣期間〕 10月16日から25日までの10日間

〔派遣議員〕 今井俊郎議員・市川哲夫議員

日中友好促進三重県市議会議員連盟第28次訪中使節団

〔派遣場所〕 上海市・北京市・滎陽市・鄭州市・許昌市

〔派遣期間〕 10月21日から27日までの7日間

〔派遣議員〕 佐久間浩治議員・大杉吉包議員

議会の動き (議長・副議長の公務等)

略称/各種会議名	各派/各派代表者会議	政調/政務調査費経理責任者会議
議運/議会運営委員会	全協/全員協議会	広報/議会広報広聴委員会

6月..... (6月定例会/6月4日～6月22日)

- 21日 議運、各派
防犯協会理事会及び定期総会 (議長)
- 22日 本会議、全協、政調、広報
商工会議所議員懇談会 (議長、生活産業委員長)
- 23日 鈴鹿農業協同組合通常総代会 (議長)
- 24日 水防工法講習会 (議長)
- 25日 安来市議会視察来市
- 26日 鈴鹿亀山地区広域連合議会臨時会 (関係議員)
徳島市議会会派視察来市
- 27日 千代崎観光案内所竣工式 (議長、生活産業委員長)
鈴鹿の海開き式 (議長、関係議員)
草加市議会議会視察来市
- 29日 暴力追放鈴鹿市民会議理事会及び総会 (議長)

7月.....

- 1日 椿・小岐須溪谷山開き式 (副議長、関係議員)
「五木文庫鈴鹿」開所式 (正副議長、文教福祉委員長)
- 4日 鈴鹿川改修促進期成同盟会総会 (議長)
- 5日 町田市議会会派視察来市
交通安全都市推進協議会委員会総会 (正副議長、常任委員長)
鈴鹿市防火協会定期総会 (議長)
- 6日 広報
北勢5市議会懇話会 (正副議長)
北勢公設市場早朝視察 (関係議員)
- 9日 建設水道委員会
旭が丘小学校竣工式 (正副議長、議員)
日中友好促進議員連盟通常総会 (副議長、関係議員)
鈴鹿中央総合病院運営協議会 (副議長、議会運営委員長、文教福祉委員長)
鈴鹿亀山道路建設促進期成同盟会、
一般国道1号関バイパス建設促進期成同盟会総会
及び鈴鹿市幹線道路整備推進懇話会 (議長)
- 10日 各派、生活産業委員会
- 11日 文教福祉委員会行政視察 (所沢市、習志野市、町田市)～13日
「王毅 中国駐日本特命全権大使講演会」 (正副議長、議員)
- 12日 総務委員会
- 13日 三重県自治会連合会定期総会 (議長)
本田技研工業(株)鈴鹿物流センター開所式 (議長)
- 15日 鈴鹿中部剣道創立30周年記念剣道大会 (議長)
- 17日 全協、政調
バルーンフェスティバル組織委員会 (議長)
三重県花き生産者大会講演会 (議長)
- 18日 廿日市市議会視察来市
- 20日 椿小屋内運動場増改築工事起工式
(議長、文教福祉委員長、関係議員)
- 21日 鈴鹿市老人クラブ連合会大会 (正副議長、議員)
- 23日 鈴鹿中央線延伸バイパス道路整備促進期成同盟会総会
(議長、関係議員)
建設水道委員会行政視察 (堺市、倉敷市、松江市)～25日
- 24日 生活産業委員会行政視察
(草加市、八王子市、埼玉県環境センター)～26日
囲碁全国大会出場市長報告 (議長)
交通安全子供自転車全国大会出場市長報告 (議長)

- 25日 消防救助技術東海地区指導会 (議長)
国道306号整備促進同盟会総会 (議長)
全日本少年空手大会出場選手市長表敬訪問 (議長)
全国小学校陸上競技交流大会出場選手市長
表敬訪問 (副議長)
ホンダ鈴鹿都市対抗野球出場市長表敬訪問 (副議長)
- 27日 三重県市議会議長会海外行政視察団の結成
及び事前研修会 (関係議員)
- 30日 総務委員会行政視察 (高浜市、相模原市、我孫子市)～8/1日
ボカ・ジュニアーズサマーキャンプ講師市長表敬訪問 (議長)
- 31日 県知事要望 (議長)
生駒市議会視察来市

8月.....

- 1日 茅ヶ崎市議会会派視察来市
- 2日 鈴鹿サーキット交通教育センター開所式 (議長)
日中友好促進議員連盟役員会 (副議長、関係議員)
中ノ川改修工事促進期成同盟会総会 (議長、関係議員)
- 3日 議会基本条例特別委員会
- 4日 しろこ夏まつりオープニングセレモニー (議長、関係議員)
- 6日 全日本選抜少年剣道練成大会優勝報告 (議長)
鈴鹿市に「野球場」建設を求める要望書受理
- 7日 堀切川改修促進期成同盟会総会 (議長、関係議員)
- 8日 北勢5市議会合同研修会 (正副議長、議員)
- 9日 都市対抗野球大会出場報告会 (正副議長)
- 10日 各派、地震防災特別委員会
- 17日 全協、政調、議員研修会
都市対抗野球出場壮行会 (正副議長、議員)
- 20日 関バイパス～名阪国道大阪方面ランプ完成見学会 (議長)
- 22日 高島市議会視察来市
- 24日 北勢広域営農団地農道整備事業推進協議会総会 (議長)
- 28日 議運、各派、決算説明会
公共施設等への木材利用の促進に関する要望書受理
- 30日 三重県市議会議長会海外行政視察事前研修会 (関係議員)

9月..... (9月定例会/9月4日～6月27日)

- 1日 地震防災訓練 (副議長、議員)
- 4日 本会議、議運
関西本線名古屋～亀山間複線電化促進協議
会名古屋市会への要望 (議長)
- 10～12日 本会議
- 13日 議運、各派
- 14日 本会議
- 15日 バルーンフェスティバル開会セレモニー
(副議長、生活産業委員長)
- 16日 青年会議所創立40周年記念式典 (議長)
彫型画展表彰式 (議長)
- 18日 文教福祉委員会 (～19日)、建設水道委員会
- 20日 総務委員会、生活産業委員会 (～21日)
- 23日 消防団操法技術大会 (正副議長、議員)
- 26日 議運、各派
中国建国58周年及び中日国交正常化35周年
記念レセプション (副議長、関係議員)
- 27日 本会議、政調、広報

議決一覧表（9月定例会）

議案番号	件名	議決内容
議案第 67号	平成19年度鈴鹿市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第 68号	鈴鹿市長の資産等の公開に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第 69号	鈴鹿市職員退職手当支給条例の一部改正について	原案可決
議案第 70号	鈴鹿市税条例の一部改正について	原案可決
議案第 71号	鈴鹿市運動施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第 72号	鈴鹿市都市公園条例の一部改正について	原案可決
議案第 73号	鈴鹿市道路占用料徴収条例の一部改正について	原案可決
議案第 74号	工事請負契約について(鈴鹿市学校給食センター建築工事)	原案可決
議案第 75号	工事請負契約について(鈴鹿市学校給食センター機械設備工事)	原案可決
議案第 76号	財産の取得について(神戸中学校移転用地)	原案可決
議案第 77号	財産の取得について(災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車 I-A型)	原案可決
議案第 78号	市道の廃止について	原案可決
議案第 79号	市道の認定について	原案可決
議案第 80号	平成18年度鈴鹿市一般会計決算の認定について	認 定
議案第 81号	平成18年度鈴鹿市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	認 定
議案第 82号	平成18年度鈴鹿市土地取得事業特別会計決算の認定について	認 定
議案第 83号	平成18年度鈴鹿市福祉資金貸付事業特別会計決算の認定について	認 定
議案第 84号	平成18年度鈴鹿市住宅新築資金等貸付事業特別会計決算の認定について	認 定
議案第 85号	平成18年度鈴鹿市老人保健特別会計決算の認定について	認 定
議案第 86号	平成18年度鈴鹿市下水道事業特別会計決算の認定について	認 定
議案第 87号	平成18年度鈴鹿市農業集落排水事業特別会計決算の認定について	認 定
議案第 88号	平成18年度鈴鹿市介護保険事業特別会計決算の認定について	認 定
議案第 89号	平成18年度鈴鹿市水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について	認定及び可決
発議案第 4号	道路特定財源の確保と地方への配分強化を求める意見書	原案可決
発議案第 5号	「義務教育費国庫負担制度の存続と、負担率2分の1への復元」を求める意見書	原案可決
発議案第 6号	「30人学級を柱にした義務教育諸学校および高等学校次期定数改善計画の策定、教育予算拡充」を求める意見書	原案可決
発議案第 7号	「『学校安全法』(仮称)の制定をはじめとする総合的な学校の安全対策」を求める意見書	原案可決

請願番号	件名	議決内容
請願第 2号	「義務教育費国庫負担制度の存続と、負担率2分の1への復元」を求める請願書	採 択
請願第 3号	「30人学級を柱にした義務教育諸学校および高等学校次期定数改善計画の策定、教育予算拡充」を求める請願書	採 択
請願第 4号	「『学校安全法』(仮称)の制定をはじめとする総合的な学校の安全対策」を求める請願書	採 択

会議録のお知らせ

一般質問や議案質疑など本会議の詳しい内容については、会議録が閲覧できますのでご覧ください。
9月定例会の会議録は、12月中旬に市立図書館及び各地区市民センターなどに配布予定です。
また、鈴鹿市議会ホームページに、会議録検索システムを登載していますのでご覧ください。

傍聴のご案内

本会議や常任委員会、特別委員会及び議会運営委員会は傍聴できます。日程は市役所と地区市民センターの掲示板と市議会のホームページに掲載します。ただし、日時が変更になる場合がありますので、傍聴する場合は、事前に議会事務局へご確認ください。電話 382-7600

テレビ中継のお知らせ

本会議の代表質問・一般質問を、CNSテレビ(アナログ20ch・デジタル702ch)で生放送します。放送時間は、午前10時(開会時間)から会議の終了までです。ぜひご覧ください。